

第21回土岐市子ども・子育て会議 書面による開催結果

協議期間

令和4年2月10日から令和4年2月24日まで

出席委員

山田 利彦	山村 真由美	伊東 美穂	赤川 冴香	福富 泰岳
加藤 隆浩	小栗 潔子	鷺見 政人	古宮山 綾乃	三宅 裕一
熊崎 克朗	藤田 佳代	近崎 奈保子	松崎 多恵子	

計 14人

欠席委員

なし

計 0人

議題 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画について

- | | |
|------------------------|-----|
| (1) 利用定員等の変更について | 資料1 |
| (2) 量の見込みと確保方策の見直しについて | 資料2 |

協議結果

書面による協議を実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）した結果、協議事項について14名の委員から承認の回答があり、原案どおり承認されました

その他 委員からの意見等

委 員 市の障がい児受け入れ状況について

事務局 市の発達支援相談員が園児の状況を確認し、その状況に応じた支援（同様の園児3人に対して職員を1人配置するなど）をつけることで、どの園でも障がい児の受け入れを実施しています。ただし、現在は医療的ケアが必要な児童についての受け入れを実施しておらず、今後はその受け入れについて看護師の配置等により受け入れができる体制を整備していきます。

委 員 パブコメについて保育園や幼稚園にも周知して行うべきだったのでは。

事務局 今回は子育て支援課窓口や市ホームページ、市内各支所にて周知していました。

委 員 多機能型子育て支援拠点施設の親しみやすいネーミングやキャラクターを中高生や母親を含めアイデア募集をしてもらえると良い。

事務局 新年度以降に、愛称の募集をする予定です。

委 員 多機能型子育て支援拠点施設については、各地区の主任児童委員との連携が可能であれば、必要に応じて幼保小含めた地域での見守りができるのではないかと考えます。

事務局 委員さんのご意見のとおり、多機能型子育て支援拠点施設で「利用者支援事業」を実施する中で関係機関との連携が必要となってきますので、今後の状況によりご協力をいただくことがあると思いますのでよろしくお願いします。

委 員 多機能型子育て支援拠点施設において、オンライン化して自宅にいても支援を受けられるようなシステムができると良い。

事務局 他の事業でコロナ禍における育児相談でオンラインでの実施実績はあります。今後、多機能型子育て支援拠点施設を運営していく中で、どのような子育て支援の方法が実施できるのか、より良い子育て支援につながるよう指定管理者と協議していきたいと考えています。

委 員 小中高生にとっても居場所となる機能は持たせられないか。

事務局 今回の多機能型子育て支援拠点施設に限らず、市内の児童館、児童センターではおおむね中学生以下を対象としての施設運営を行っています。